

製品名: SMAD5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80936**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD5
別名	Dwfc; JV5-1; MADH5; DKFZp781C1895; DKFZp781O1323; SMAD5
遺伝子 ID	4090.0
SwissProt ID	Q99717
免疫原	大腸菌で発現したヒト SMAD5 の精製された組み換え断片。

背景

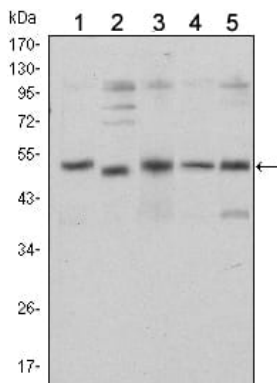
BMP（骨形成タンパク質）1 型受容体キナーゼによって活性化される転写調節因子。SMAD5 は受容体制御型 SMAD（R-SMAD）である。SMAD5 は生体内における心血管系の正常な発達に必須であり、SMAD5 遺伝子の欠損は心筋細胞のアポトーシスを引き起こす。

す。3 SMAD5 の上方制御は、ヘリコバクター・ピロリ感染によって誘発される胃上皮細胞のアポトーシスを媒介することが報告されている。組織特異性: 普遍的。

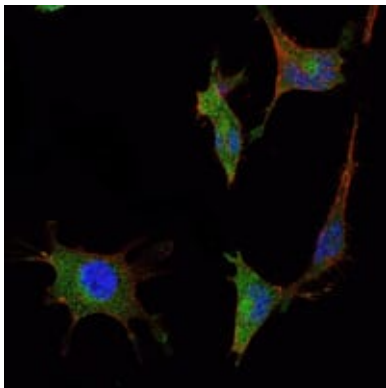
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路

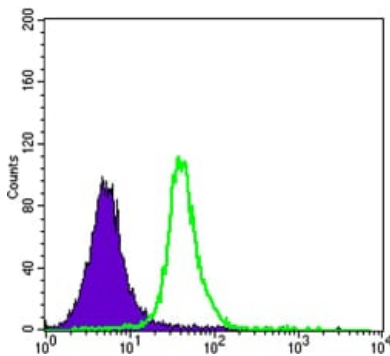
画像データ



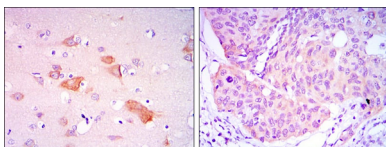
Hela (1)、SK-N-SH (2)、PC-12 (3)、Jurkat (4)、および K562 (5) 細胞溶解物に対する SMAD5 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



SMAD5 マウス mAb (緑) を用いた NTERA-2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



SMAD5 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



SMAD5 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト脳組織 (左) と肺癌組織 (右) の免疫組織化学分析。